

生活困窮者サポート事業

担当 渡邊 佳津子

当法人では、県社協を本部とする生活困窮者への支援事業であるくらしサポート大分に賛同、協賛しています。

当施設のような障がい支援施設であれば、一人三千円×利用者人数分の金額を納めたように、各種施設により県社協に集めたものを基本財源とし、各地域の生活困窮者に対しての支援を実施する取り組みです。

微力ではありますが、施設として地域への貢献とともに公益性を高め、この活動を通して、社会福祉本来の姿を私たちも見つめ直しています。

当法人がこれまでに取り組んだ件数は二十件を超えました。

例えば、ご病気で働けなくなり生活保護申請や受給までの繋ぎ支援が必要な方、派遣の仕事を急に失業、乳児二人を抱え生活にお困りの方など内容は本当に様々ではありますが、最長三ヵ月にて生活の立て直しが少しでもできるように取り組んでおります。

サポート実施についての説明になりますが、要望された方へは細かい聞き取りが必要となり、暮らしの状況を把握するためのお宅訪問も必須となります。

状況によっては経済支援だけでなく、市の社会福祉課や社会福祉協議会とも連携し、就職活動や医療面へのサポートなど幅広く支援が必要な方もいらっしゃいます。

利用された方で印象に残る言葉を言われました。

「人間行き詰まったら、普段は考えもしないことを思う時がある。自ら命を絶ったり、事件を起こす人の気持ちが解る時がある。」と・・・

私たちは利用される方の全部を隅り知ることにはできないと思いますが、気持ちに寄り添い命を守ること、そして自分が同じ立場であったらと常に研鑽を重ね、少しでも気持ちに余裕を持ってもらえるよう、これからも頑張っていきたいと考えています。

現在、豊後高田市でこのくらしサポート大分に登録し実際に活動しているのは当施設のみであるために、生活困窮者が増えていく現状を踏まえたとき、この地域で協力していける輪が広がることを心待ちにしております。第一歩は地域の中での気付きが大切となります。

皆さまの地域でお困りの方はいらっしゃいませんか？今後ともご協力を宜しくお願い致します。



花植交流

担当 近藤 久乃

当法人では社会貢献活動の一環として、長年田染小中学校との花植交流会を実施しております。

秋の花植交流会として一月二〇日に田染中学校と小学校にて秋の花植え交流会を実施致しました。

パンジー・ビオラ・キンセンカ・ネモフィラ・リビングストーンデイジーの苗を花壇やプランタに田染小中学校の生徒様とコスモス利用者様と一緒に植えました。

利用者さんは花植え交流会を通して、花を育てる喜びや、社会参加の喜びを体験できたと思います。

この活動を通して、子供たちに少しでも、障がいについて理解を深め、きっかけになって頂ければ利用者様も嬉しいと思います。

田染小・中学校の皆様、ありがとうございました。



社会貢献活動写真

コスモス 後期行事活動



- | | | | |
|------------|---|----|-------|
| ・サーカス見学 | ～ | 担当 | 渡邊佳津子 |
| ・敬老行事 | ～ | 担当 | 河野 正孝 |
| ・ゲートボール大会 | ～ | 担当 | 高橋美由紀 |
| ・クリスマス会 | ～ | 担当 | 近藤 久乃 |
| ・生活介護 買物学習 | ～ | 担当 | 渡邊佳津子 |
| ・就労B型 買物学習 | ～ | 担当 | 土谷 雅美 |

サーカス見学

渡邊 佳津子

去る九月三日と二十四日、二班に分かれて大分市にて開催されている「ハッピードリームサーカス」を観に行きました。

普段はあまり観ることがないサーカスでは、次々繰り広げられる演技にハラハラしたり笑いが起きたりと、利用者の皆さん目を輝かせていました。

サーカス観覧は全員参加ではなく、個々の障がい状況によって参加が難しい方もいらっしゃいます。

大きな音や光（照明ライト）によりパニックや不穏になる方にとっては、楽しい場所とは言えないからです。

私たち支援に携わる者として、日常から利用者の特質などを考慮した支援に心掛け、一人でも多くの利用者が楽しく外出できる機会が増えるよう努めていきたいと思えます。



敬老行事

河野 正孝

九月十二日、コスモスホールにて敬老行事が、開催されました。令和元年度の敬老対象者六十五歳以上は男性十二名、女性十二名、計二十四名の方を皆でお祝いしました。

式典では、お忙しい中多数の方々に御出席頂き、また、祝辞を頂き有り難うございました。

この場をお借りして、お礼申し上げます。

式典後は、敬老対象者で杵築市衆楽観にて昼食を食べ、その後、芝居を観て楽しんでいました。

その後、杵築市のマルシヨクにて買い物をされ、思い思いの品を購入され、慰労とさせて頂きました。

対象者の方々にとっては、思い出深い一日になったのではないかと思います。

今後は、地域の方々との交流を敬老行事でも行えたらと考えています。

その際は、どうか宜しくお願い致します。



ゲートボール大会

高橋 美由紀

心配していた天候にも恵まれ、青空の下、十月三十一日、稲荷公園にてふれあいゲートボール大会を開催しました。

この大会は、今年で二十九回目となり、長きにわたり豊後高田市ゲートボール協会の方々と交流させていただき、大変感謝しております。

コスモス選手の皆も、とても楽しみにしており、当日は早くから準備を始め、会場に着いてからは、それぞれ各チームの方とふれあい、ルール等を教えてもらいながら終始和やかな雰囲気の中、試合をする事ができました。

今後も地域交流の場の一つとして継続していくことができれば幸いです。

ご協力ご理解の程、よろしくお願いいたします。
ありがとうございました



クリスマス会

近藤 久乃

十二月十五日、当施設ホールにてクリスマス会を開催しました。利用者様はクリスマス会をとっても楽しみにされており、ツリーの飾りつけや塗り絵など積極的に進んで行ってくれました。

午前中は、バンドの演奏に大変盛り上がり皆さん一緒に踊って歌っていました。

午後のカラオケ大会も大いに盛り上がり、参加して頂いた方には参加賞もあり、参加した利用者さんは思い思いの品に大変喜んでいました。

今回、参加頂きました来賓の方々、ボランティアの方々、また御家族の皆様のご協力により無事、会は終了致しました。

来年のクリスマス会も、今年同様、ご協力お願い致します。



生活介護・買物学習

渡邊 佳津子

買物学習一班は、十一月十九日杵築市の衆楽館にて観劇・食事を楽しみ、しまむらやサンリブにて好きな物を選択しながら買い物しました。

二班は十一月二十一日に宇佐市のすたみな太郎でバイキングを楽しんだ後、イオン三光にて思い思いの買い物を行いました。

両日ともそれぞれに楽しみ方は違いますが、外出をかなり前から楽しみにしていた利用者が多く、皆さん笑顔が多く見られていました。

年間行事の中でも、利用者の皆さんが特に期待度が高い買い物については、今後も利用者さんの意思が反映されるような取り組みが必要と思われれます。

一人ひとりの意思ができるだけ尊重されるように、また、充実した楽しい一日になるように取り組んでいきたいと思っています。



就労B型買物学習

土谷 雅美

十一月十四日、買い物学習を行いました。

今回は、杵築市のサンリブ杵築にてゆっくり買物をする時間をとり、利用者の皆さん予定していた生活用品・衣類等を購入しました。

きつき衆楽観に行く際に、杵築城に立ち寄り、杵築市内を展望し写真にも収め、眺望を楽しみました。

その後、きつき衆楽観にて利用者様が一番楽しみにしていた演劇を鑑賞し、初めて見る利用者の方は手を叩いて喜び、利用者同士笑いながら鑑賞する様子が印象的でした。

又、演劇中も写真クラブの利用者様は、演者の方を夢中で撮影しており、翌日に会話を弾ませながら写真を見せ合う姿が見られ、一日を通して有意義な時間を過ごす事が出来たようです。

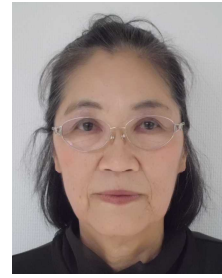
今後も、買い物学習を通じて利用者様、職員の親睦をより深める共に、公共でのルールやマナーを守り、金銭感覚の向上を図れるように支援していきたいと思っています。



☆新人職員紹介☆

濱生 浩子 八月入社

八月より利用者様の洗濯を行っています。まだまだ不慣れなことが、多くの皆様にご迷惑をお掛けしますが、これから宜しく願います。



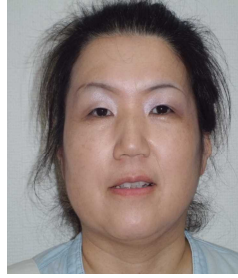
豊田 涼 十月入社

十月より支援員として勤務する事になりました。未だ慣れていないことも多く、ご迷惑を皆様にお掛けしますが、願います。



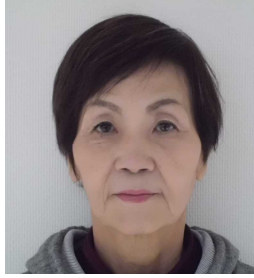
東 昌代 十月入社

十月より支援員をさせて頂く事になりました。初めて教えて頂くことばかりですが、早く慣れて少しでも皆様のお役に立てれば良いと思っています。



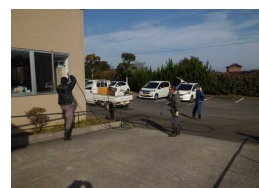
松下 孝子 十一月入社

十一月より嘱託職員として入社しました。福祉の仕事は初めてなので、分からないことが多いですが、これから宜しく願います。



後期行事活動

9月3・24日	サーカス見学
9月12日	敬老行事
10月31日	ゲートボール大会
11月14日	就労買物学習
11月19日・21日	生活介護買物学習
11月20日	花植交流
12月3日	大掃除
12月15日	クリスマス会
12月25日	餅つき



編集後記

まもなく二〇一九年が終わりを告げようとしています。元号が「平成」から「令和」へ変わる大きな節目の年でもありました。また今年には日本で大分でラグビーワールドカップが開催され、大いに盛り上がり、そのラグビー日本代表のスローガン「ONE TEAM」が二〇一九年流行語大賞として選ばれました。「出身地や文化、様々な背景を持ちつつも、違いを乗り越えて一つに結束したチームに」という意味と、思いが込められた言葉です。私たちコスモス職員もラグビー日本代表のように結束し、「ONE TEAM」の精神で利用者様の支援にあたって参ります。今後とも皆様にはご支援・ご協力を承りますよう、宜しく願ひ申し上げます。

編集担当

関口 宏・中間 清史
藤原 かよ・橋詰 千穂

日常の五心

一、ハイという

素直の心

二、すみませんという

反省の心

三、わんがしますという

奉仕の心

四、おかげさまでですという

合掌の心

五、ありがとうという

感謝の心



社会福祉法人 育心会 障害者支援施設 コスモス

〒879-0604 豊後高田市美和1684番地



0978-25-4111